

「富山ものづくり企業ナゾ解きバスツアー」事業

ものづくりの現場を訪ねて、その魅力に触れることで  
地元への愛着と、ものづくりを担う次の世代を育む

富山県は製造業のウエイトが高い「ものづくり県」であり、世界トップシェアを誇る企業や、オンラインの技術を持った企業も少なくない。富山のものづくりの魅力を伝えるために、小学生を対象としたバスツアーが企画された。将来、成長した子どもたちが、地元でものづくりを担う人材として活躍する日が来ることを期待したい。

地元のものづくり企業を訪ねてナゾを解く  
富山ものづくり企業ナゾ解きバスツアー

2010年に実施された国勢調査を見ると、主な産業大分類別の15歳以上就業者の都道府県別割合において、富山県は製造業で第4位(24.1%)となっている。およそ4人に1人は製造業に携わっていることになるが、全国平均が16.1%であることを考えれば、それだけ富山県は、製造業のウエイトが高い「ものづくり県」ということができる。

その富山県のものづくりの魅力や実力を地元の子供たちに知ってもらいたいと企画・実施されたのが、「富山ものづくり企業ナゾ解きバスツアー」である。主催したのは、富山市に本社を置く北日本新聞社と富山大学工学部で構成された「富山ものづくり魅力体験事業実行委員会」。

このツアーは、小学生を対象に親子での参加が原則で、富山県内にあるものづくり現場を訪ね、工場見学や工作体験をするとともに、ツアーの行程中に出題される訪問先の企業や業界に関する“ナゾ”を解き、最後に富山大学工学部の教授が、ナゾに関する解説をするというもの。すべてのナゾを解くと、「富山ものづくり企業ナゾ解き認定証」がもらえる。

「子どもの理科離れ、大学生の工学部離れがいわれていますが、富山のものづくりの魅力を子どもの頃を知ってもらうことで、地元への愛着を持ってもらいたいし、富山のものづくりの次の世代の担い手となってほしい。そういう思いで、このツアーを企画しました。また、その模様を新聞を使って告知や報道することで、地元のものづくり企業のPRにもなると思います」

北日本新聞社営業局でこの事業を担当する堀敬人さんは、企画の意図をそう話す。なお、AJOSCからの助成は、事業全体の運営費として役立てられた。

目を輝かせて工場見学や工作体験に挑む姿を  
『北日本新聞』の紙面を使って紹介

ツアーは昨年7月30日と8月21日の2回実施された。第1回目の訪問先は、YKK、山田写真製版所、ミサワ



YKKセンターパークでファスナーの製造について学ぶ



山田写真製版所で印刷物の色の三原色について学ぶ



エヌアイシ・オートテックでアルミフレームの製造現場を見学

ホーム北越富山支店の3か所。YKKセンターパークでファスナー製造の技術を学んだ後、山田写真製版所で製版・印刷・製本の工場を見学、さらにミサワホーム北越富山支店では、南極観測隊員として基地施設の設営や管理に携わった社員から体験談を聞いた。当日は親子16組37名が参加した。

第2回目は、エヌアイシ・オートテック、富山市流杉浄水場、さらに屋上山本店を訪問。エヌアイシ・オートテックではアルミフレームの工場見学と写真立ての組み立て工作体験を行い、流杉浄水場では市民生活や工場に欠かせない水を作る過程について学んだ。また、ささら屋では富山名産のせんべいの製造工程を見学した。この日は親子17組37名が参加した。

ツアー参加者の募集は紙面で告知されたほか、チラシが作られ、公共施設などで配布された。また、2回のツアーの模様は北日本新聞社の紙面で見開き2ページにわたって紹介された。「工場見学では安全性の確保を第一に考えました。目を輝かせて工場見学や工作体験に取り組んでいる子どもたちの姿が印象的でした」と、2回のツアーに同行した堀さんは話すが、子どもたちにとっては夏休みの貴重な体験になったに違いない。ツアーを受け入れた企業では、それに合わせて資料や工作キットなどを製作して協力し、来年もぜひ協力したいという声が寄せ

担当者より



前回より回数も内容も  
パワーアップしたことに  
「楽しかった」の声

富山ものづくり魅力体験事業  
実行委員会  
北日本新聞社  
堀敬人さん

AJOSCの助成により、前年よりもツアーの回数を増やせ、内容もより充実したものにすることができました。また、関連イベントも開催でき、より多くの人に富山のものづくりの魅力を伝えることができました。この事業が、富山県における就労支援や地域経済活性化につながっていけばいいと思っています。

られているという。

今回の事業ではバスツアーとは別に関連イベントとして、JAXA宇宙飛行士の若田光一さんによる「ミッション報告会 in 富山」と、同氏や富山大学工学部の松島紀佐教授などが参加した「宇宙開発とものづくり」と題するトークショーが昨年10月26日に開催され、700名の参加者で会場が盛り上がった。この関連イベントにも、特別協力としてAJOSCが名を連ねた。



関連イベントの「ミッション報告会 in 富山」